

**資料 20**  
**(三宮委員意見)**

KHK バルク関係基準分科会の審議に関する JLPA バルク貯槽分科会の主な意見は以下の通りです。宜しく申し上げます。

LP ガス設備設置基準及び取扱要領については

①均圧カップリングのプラグについて

(耐圧性能を有する) → (漏えいのない) に変更案が出された。

やはり試験等を考えると漏洩で十分の意見が多かった。

②プロテクターの材料

原案の書きぶりでは、外国製材料で(引張り)強さが SS400 以下は使用できないようにも感じられるので書きぶりの変更希望が出された。

また、下記の要望のメールが有りました。

\*\*\*\*\*

[提案]: プロテクター基準改定案(解説) 1) の材料に関する件の文章は削除し、以下の主旨として貰いたい。

1. プロテクター材質 SS400 又は同等以上で、  
板厚は地上式 1.6mm 以上地下式で 4.5mm 以上が原則
2. それに対し、KHK 基準にて以下基準化をお願いしたい。

SS400 相当より規格最小引張強さが小さい材料を使用する場合は、SS400 の規格最小引張強さと使用する材料の規格最小引張強さの比に相当分以上板厚を厚くすることで使用可能とする。

[提案理由]: プロテクター用鋼板は薄く、通常このような薄板は板金加工用鋼板として、プレス成型性の良い低強度のものが一般的であり、SS400 相当以上の強度の薄板の市場性が限られることから鋼板としての入手は容易でない。  
所要素材量が小さいことから、市場にて入手可能な材料の採用を可能にすべきと考えます。

\*\*\*\*\*

上記意見共に SS400 相当より規格最小引張強さが大きい材料を使用する場合はどうするのでしょうか?

③バルク貯槽の表示

貯槽の大きさと文字の大きさは保安上関係ないので文字の大きさを 5cm 以上に統一で十分との意見(バルク貯槽の大きさと文字を変える必要はない)になりました。

④安全弁放出管は一社以外すべて樹脂製なので「交換する場合は塗装を施した金属製に取り替えることが望ましい。」との記載を削除する希望がありました。

⑤半地下埋設方法

土留め構造よりも15cm以上低い位置については水分の流入の恐れもあり、強度的にも意味がないので0cmでも良いのではないかという意見が出された。